

学生の特性に応じた支援を

合理的配慮について講演した早坂浩志准教授



八学大、八学短大研修会

八戸

八戸学院大(水野眞佐夫学長)と同大短期大学部(杉山幸子学長)は8月29日、

学生相談・特別支援室に関する学内研修会を開いた。岩手大保健管理センターの早坂浩志准教授が講演し、参加した教職員約40人が、

個人の特性に応じた公正な学生支援について学んだ。

国公立大に続き、私立大でも障害のある学生への合理的配慮が義務化されたことを受け、その具体的な方法について理解を深める目的で開催した。

臨床心理学や学生相談を専門とする早坂准教授が、「合理的配慮を行う際の基準と学生の悩みやこころの不調に対する対応の仕方」と題して講演。学生が希望する場合は、板書の撮影やICレコーダーでの録音を認めるなどの対応が必要であることを伝えた。

杉山学長は「今後も知識を基にした柔軟な姿勢で、学生支援に取り組んでいきたい」と語った。(才神利奈)